

東日本電信電話株式会社
東京都
国立大学法人東京大学

ローカル5Gの活用に係る3者協定の締結について

- 本日、東日本電信電話株式会社と東京都及び国立大学法人東京大学との間で、ローカル 5G の環境整備・利活用に関する連携協定を下記のとおり締結しました。
- また、協定締結にあたり、本日、協定締結式を都庁で実施しました。

1 協定の概要

(1) 主な目的

3者が相互に連携し、ローカル5G環境を整備・活用することで、産業の活性化やイノベーションの創出を推進

(2) 主な連携内容

通信技術の研究・検証や適応領域、ユースケースの検討、中小企業への開発支援など、各々が実施する事業等の相互協力

*詳細は、別紙 3者連携の具体的なイメージをご参照ください。

2 協定締結式

- (1) 日 時 2020 年 2 月 21 日(金) 17 時 20 分～17 時 40 分
- (2) 場 所 東京都庁第一本庁舎 7 階
- (3) 出 席 者 東日本電信電話株式会社代表取締役社長 井上 福造
東京都知事 小池 百合子
国立大学法人東京大学総長 五神 真



3 者連携の具体的なイメージ



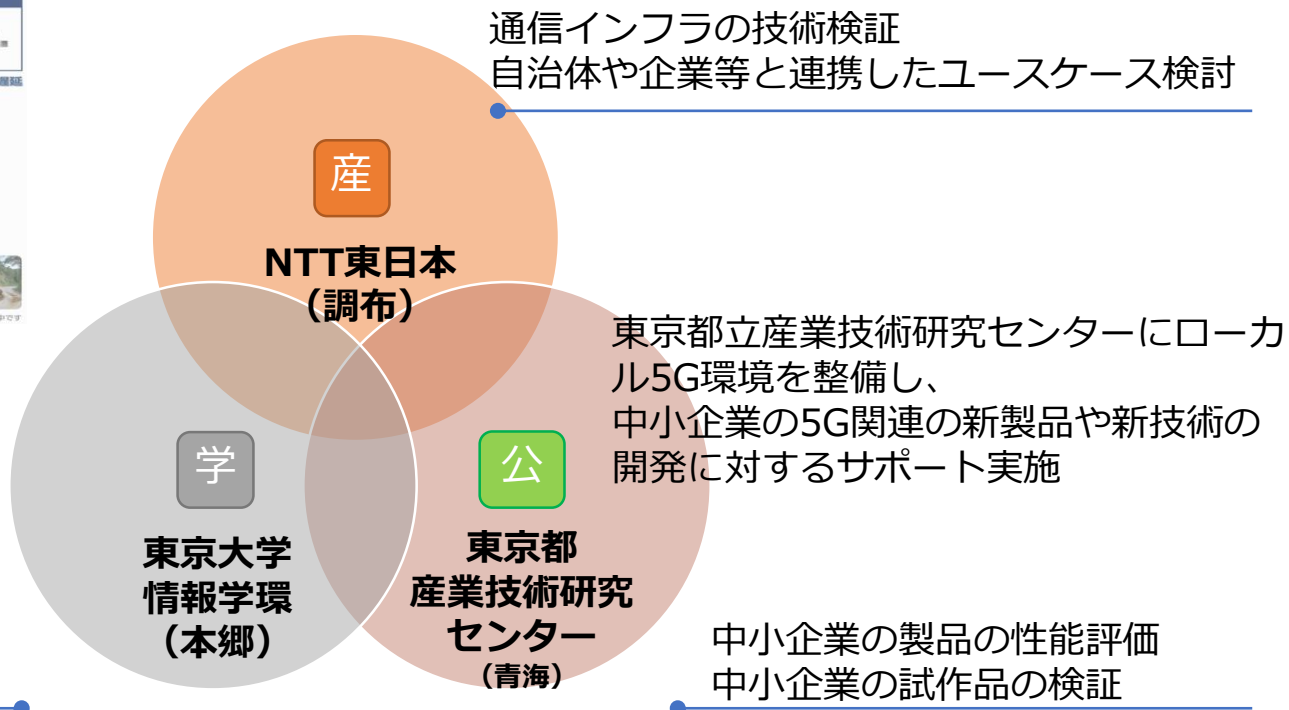
社会の「公共財」である大学
多様な学問分野における最先端の
成果を還元する役割担う

最新技術を活用した課題解決

基礎的な技術研究

3者の連携効果について

- ローカル5Gを活用した産業の活性化やユースケースの共創によるイノベーションの創出を推進
- ローカル5Gに係る知見・ノウハウの共有、3つの拠点で通信技術や適応領域の研究・検証を実施、多様なユースケースを創出
- 連携によりそれぞれが展開する事業領域を発展・深化するとともに、技術・学術交流も実施



中小企業の製品の性能評価
中小企業の試作品の検証